



林 弘正先生近影

林 弘正教授 略歴・業績一覧

略 歴

- 1947年 5月16日 神奈川県川崎市生まれ
- 1966年 3月 神奈川県立多摩高等学校卒業
- 1974年 3月 中央大学法学部法律学科卒業（法学士）
- 1977年 3月 中央大学大学院法学研究科刑事法専攻修士課程修了（法学修士）
- 1983年 3月 中央大学大学院法学研究科刑事法専攻博士後期課程単位取得満期退学
- 2006年 8月 アライアント国際大学カリフォルニア臨床心理学大学院（Alliant International University/California School of Professional Psychology）臨床心理学研究科修士課程修了（臨床心理学修士・Master of Arts in Clinical Psychology）

職 歴

- 1981年 4月 中央大学通信教育部インストラクター（刑法担当、至1988年 3月）
- 1983年 4月 中央大学法学部非常勤講師（刑法ゼミ担当、至1985年 3月）
- 1985年 9月 駒澤大学法学研究所インストラクター（刑法担当、至1994年 3月）
- 1989年 4月 東京家政大学文学部非常勤講師（教職課程・法律学概論担当、至2003年 3月）
- 1990年 4月 常葉学園富士短期大学商学科助教授（法学、刑法、ゼミ担当、至1992年 3月）
- 1992年 4月 常葉学園富士短期大学国際教養科教授（法学、刑法、

島大法学第56巻第4号

- ゼミ担当、至1994年3月)
- 1994年4月 清和大学法学部教授（公法入門担当、至2001年3月、1998年4月より刑法Ⅰ（総論）、経済刑法、研究会担当、至2004年3月）
- 2000年4月 中央大学法学部非常勤講師（刑法担当、至2004年3月）
- 2004年4月 島根大学大学院法務研究科教授（刑法Ⅰ（総論）、刑法Ⅱ（各論）、刑事法総合Ⅰ担当、カリキュラム改正後、刑事法入門、刑法Ⅰ（総論）、刑法Ⅱ（各論）、刑事法総合Ⅰ担当、至 現在）
- 2009年4月 白鷗大学法科大学院非常勤講師（刑法演習Ⅰ、刑法演習Ⅱ担当、2012年4月より刑法Ⅰ、刑法Ⅱ、刑法演習Ⅰ、刑法演習Ⅱ担当、至 現在）
- 2013年4月 島根大学名誉教授

学会活動歴

- 1978年9月 日本刑法学会会員（至 現在）
- 1987年5月 第65回日本刑法学会 ワークショップ「違法性の意識」個人報告
- 1991年10月 日本被害者学会会員（至 現在）
- 1992年6月 第3回日本被害者学会学術大会 個人報告「親による性的虐待の被害」
- 1996年6月 日本法政学会会員（2007年11月理事、至 現在）
- 1999年5月 第77回日本刑法学会 ワークショップ「児童虐待と刑事規制」個人報告
- 2002年5月 第80回日本刑法学会 個人報告「児童虐待の現況と刑事法的介入」
- 2004年6月 第100回日本法政学会 シンポジウム「長引く不況と

- 消費者問題」 個人報告「消費者問題への刑事法的アプローチーヤミ金融および経済刑法から見た消費者保護ー」
- 2008年 6 月 第108回日本法政学会 シンポジウム「近未来日本の社会、政策及び法制度」 個人報告「情報化社会における新たな犯罪と刑罰権の行使」
- 2010年 6 月 第112回日本法政学会 シンポジウム「裁判員制度 国民の司法参加」 個人報告「裁判員制度の運用実態と問題点の考察ー刑法の視点からー」
- 2012年11月 第117回日本法政学会 特別講演「日本法政学会と私」 企画及び司会

国外での報告

- 2008年11月 国立ソウル大学行政大学院 シンポジウム「Evidence-Based Governance」 個人報告「Child Abuse in Japan – Toward Problem Resolution through Criminal Law Process –」
- 2008年11月 韓国刑事政策研究院 個人報告「改正刑法假案成立過程の考察」
- 2013年 3 月 台湾國立政治大學 シンポジウム「現代行政の課題と展望」 特別報告「裁判員裁判の現状と課題」

著 書

【単著】

1. 『児童虐待 その現況と刑事法的介入』 成文堂、2000年12月
2. 『改正刑法假案成立過程の研究』 成文堂、2003年12月
3. 『児童虐待 その現況と刑事法的介入 [改訂版]』 成文堂、2006年12月
4. 『児童虐待Ⅱ 問題解決への刑事法的アプローチ』 成文堂、2007年 5 月
5. 『児童虐待Ⅱ 問題解決への刑事法的アプローチ [増補版]』 成文堂、2011年11月

6. 『相当な理由に基づく違法性の錯誤』 成文堂、2012年3月

【共著】

1. 『条解 刑法Ⅰ』（下村康正編著） 三省堂、1980年
2. 『条解 刑法Ⅱ』（下村康正編著） 三省堂、1981年
3. 『条解 刑法Ⅲ』（下村康正編著） 三省堂、1981年
4. 『法学・憲法』（小林弘人・松村格編著） 八千代出版、1990年
5. 八木國之先生古稀祝賀論文集『刑事法学の現代的展開 上巻』
法学書院、1992年
6. 利光三津夫・林 弘正『法学—法制史家のみた—』 成文堂、1994年
7. 下村康正先生古稀祝賀論文集『刑事法学の新動向 上巻』
成文堂、1995年
8. 『新判例マニュアル刑法Ⅰ（総論）』（香川達夫・川端博編著）
三省堂、1998年
9. 『児童虐待への介入 その制度と法 [増補版]』（吉田恒雄編著）
尚学社、1999年
10. 佐藤司先生古稀祝賀論文集『日本刑事法の理論と展望 上巻』
信山社、2002年
11. 『刑法判例百選Ⅱ各論 [第5版]』 「わいせつ罪における公然性」
有斐閣、2003年
12. 『家族とトラウマ』（JUST 編集） JUST、2003年
13. 『刑法総論27講』（立石二六編著） 成文堂、2004年
14. 日本法政学会50周年記念『現代法律学の課題』 成文堂、2006年
15. 『刑法各論30講』（立石二六編著） 成文堂、2006年
16. 『刑法総論30講』（立石二六編著） 成文堂、2007年
17. 『刑法判例百選Ⅱ各論 [第6版]』 「仮処分の公示札の有効性」
有斐閣、2008年
18. 『初めての人權』（古橋エツ子他編著） 法律文化社、2008年

19. Evidence-Based Governance, 2008 – Diversity, Progress & Continuity–
Child Abuse in Japan–*Toward Problem Resolution through Criminal Law Process*–, Graduate School of Public Administration, Seoul National University.
20. 藤井徳行先生退任記念論文集『日本の民主的基盤形成の探求』
法律文化社、2010年
21. 『立石二六先生古稀祝賀論文集』 成文堂、2010年
22. 『新・初めての人権』（古橋エツ子他編著） 法律文化社、2012年
23. 『現代行政の課題と展望』『裁判員裁判の現状と課題』
台湾國立政治大學國際關係中心、2013年

論 文

1. 『「違法性の意識」の今日の問題状況』
中央大学大学院研究年報第8号（1979年）
2. 「西ドイツの判例における『禁止の錯誤の回避可能性の判断基準』について」
中央大学大学院研究年報第9号（1980年）
3. 「禁止の錯誤の回避可能性の判断基準—とくに刑事政策的視点からの見解について—」
法学新報91巻8・9・10号（1985年）
4. 「違法性の意識—わが国の近時の判例における『相当な理由に基づく違法性の錯誤』の判断基準について—」 刑法雑誌30巻1号（1989年）
5. 「禁止の錯誤の回避可能性の判断基準—西ドイツの近時の判例について—」
常葉学園富士短期大学研究紀要創刊号（1991年）
6. 「児童虐待、特に『親による性的虐待』に対する刑事規制について」
常葉学園富士短期大学研究紀要2号（1992年）
7. 「児童虐待、特に性的虐待に対する刑事規制のための序論」
常葉学園富士短期大学研究紀要3号（1993年）
8. 「『親による性的虐待』の被害」 被害者学研究第2号（1993年）
9. 「児童虐待、特に性的虐待に関する刑事訴訟法上の諸問題—証言の証拠能力について—」 常葉学園富士短期大学研究紀要4号（1994年）

10. 「改正刑法假案成立過程の一考察—『刑法並監獄法改正起草委員会決議條項（刑法各則編第二次整理案）』を中心として—」
法学新報105巻12号（1999年）
11. 「明治四十年刑法第八十三條についての一考察」
清和法学研究6巻1号（1999年）
12. 「性的自由を侵害する犯罪についての法制史的一考察—近親姦を中心として—」
清和法学研究6巻2号（1999年）
13. 「姦通罪についての法制史的一考察（一）—『刑法並監獄法改正起草委員会決議條項（刑法各則編第二次整理案）』の成立から『改正刑法假案』の成立に至る経緯—」
法学新報106巻5・6号（2000年）
14. 「姦通罪についての法制史的一考察（二）—『刑法並監獄法改正起草委員会決議條項（刑法各則編第二次整理案）』の成立から『改正刑法假案』の成立に至る経緯—」
法学新報106巻9・10号（2000年）
15. 「姦通罪についての法制史的一考察（三）—『刑法並監獄法改正起草委員会決議條項（刑法各則編第二次整理案）』の成立から『改正刑法假案』の成立に至る経緯—」
法学新報106巻11・12号（2000年）
16. 「児童虐待防止法」
法学教室255号（2001年）
17. 「児童虐待への刑事法的アプローチ」
罪と罰39巻4号（2002年）
18. 「児童虐待」
被害者学研究第12号（2002年）
19. 「児童虐待と不作為犯論」
現代刑事法4巻9号（2002年）
20. 「児童虐待の現況と刑事法的介入」
刑法雑誌42巻3号（2003年）
21. 「裁判実務における性的虐待事例についての一考察」
島大法学48巻2号（2004年）
22. 「消費者問題への刑事法的アプローチ—ヤミ金融および経済刑法から見た消費者保護—」
法政論叢41巻1号（2004年）
23. 「裁判実務における身体的虐待及びネグレクト事例についての一考察」
渥美東洋先生退職記念論文集 法学新報112巻1・2号（2005年）
24. 「安楽死についての刑事法的的一考察」 眞田芳憲先生古稀祝賀論文集

法学新報113巻11・12号（2007年）

25. 「児童虐待をめぐる現状と課題」 刑事法ジャーナル12号（2008年）
26. 「情報化社会における新たな犯罪と刑罰権の行使」
法政論叢45巻1号（2008年）
27. 「改正刑法假案成立過程の考察」
Korean Criminological Review, No.76（2008年）
28. 「児童虐待—その現況と課題—」 憲法論叢16号（2009年）
29. 「裁判員裁判に内在する諸問題—島根県裁判員裁判第1号事件を素材として—」
島大法学53巻4号（2010年）
30. 「裁判員制度の運用実態と問題点の考察—刑法の視点から—」
法政論叢47巻1号（2010年）
31. 「違法性の錯誤に関する規定の成立経緯についての—考察—『改正刑法假案』を中心として—」
法学新報118巻1・2号（2011年）
32. 「児童虐待の現況と近時の裁判実務についての—考察—」
島大法学55巻1号（2011年）
33. 「危険運転致死傷罪についての—考察—最高裁平成23年10月31日決定を契機として—」
島大法学55巻4号（2012年）
34. 「裁判員裁判制度に内在する諸問題—鳥取地裁平成24年12月4日判決を素材に—」
島大法学56巻3号（2013年）

[判例評釈]

1. 「刑法1条2項にいう『日本船舶』にあたりとされた上で、公海上における船舶覆没行為につき刑法1条2項により同法12条2項の適用があるとされた事例」
法学新報92巻10・11・12号（1986年）
2. 「覚醒剤であるフェニルメチルアミノプロパン塩酸塩粉末を麻薬であるコカインと誤認して所持した場合の罪責と没収の適条」
法学新報93巻11・12号（1987年）
3. 「百円紙幣を模造する行為につき違法性の意識の欠如につき相当の理由が

- あるとはいえないとされた事例」 法学新報95巻1・2号（1988年）
4. 「常習累犯窃盗罪の常習性が認められた事例」 判例評論499号（2000年）
5. 「公職選挙法上の選挙長の立候補届出受理事務と業務妨害罪という業務」
現代刑事法3巻5号（2001年）
6. 「いわゆるレーザー脱毛の営業に関し、医師法違反の違法性の意識を欠いたことに相当な理由があるとはいえないとされた事例」
判例評論545号（2004年）
7. 「けん銃部品の輸入について、違法性の意識の可能性がなく、故意の成立が認められないとされた事例」 島大法学54巻4号（2011年）

[その他]

1. 「児童への性的虐待どう防ぐ」 読売新聞2001年3月14日朝刊・論点
2. 「或る作曲家の父—私的大江健三郎論」 村井実主宰・教育の原点を求める研究会
機関誌・アガトス2号（1993年）
3. 「児童虐待についての刑事法的一考察」 村井実主宰・教育の原点を求める研究会
機関誌・アガトス20号（2002年）
4. 「高松地裁平成15年1月31日判決—園長による保育園児虐待死のケースに未必の故意による不作為殺人を認定した事案についてのコメント」
毎日新聞大阪本社版 2003年2月1日朝刊
5. 「松江地裁平成16年5月27日判決—24歳の母親が1歳の長女を布団蒸しにして殺害し未必の故意による殺人を認定した事案についてのコメント」
山陰中央新報 2004年5月28日朝刊
6. 「我が子を守れ！『性犯罪』防衛術」 Yomiuri Weekly. 2005. 2. 13.
7. 「自殺考—法律学、特に刑事法の視点より—」 平和と宗教24号（2005年）
8. 松江地裁 裁判員裁判第1号の傍聴及びコメント
読売新聞島根版 2009年10月27日、29日、30日
9. 松江地裁 裁判員裁判第1号の傍聴
NHK 松江 2009年10月28日午後6時ニュース

10. 児童虐待 関西 TV 2009年10月30日午後 6 時20分 ニュース特集 Anchor
11. 鳥取裁判員裁判事案・不審死事件コメント 日本海 TV 2012年 5 月30日
午後 6 時15分ニュース
12. 鳥取地裁 裁判員裁判・不審死事件コメント BSS 山陰放送 2012年 9 月
25日～12月 4 日「テレポート山陰」
13. 呉乳児虐待事件コメント 毎日新聞広島版 2012年10月25日朝刊
14. 「裁判員裁判75日 鳥取不審死事件の法廷」 BSS 山陰放送 2012年12月28日

